

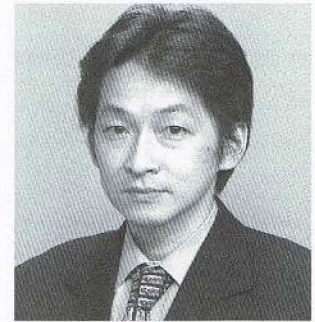
## 第44回

「地球温暖化」をはじめとする環境問題がますます身近になる一方で、世界の国々が賛同できる国際枠組みの構築は困難な状況にあります。

このような状況下で対策が急がれる中、国際社会はどのように取り組むべきなのでしょう。

CSRの最先端アメリカでの実体験をもとに日本企業向けのCSRコンサルティングを行うコーポレートシチズンシップ代表の雨宮氏から世界で行われている地球環境問題解決への取り組み等について、ご紹介いたします。

コーポレートシチズンシップ 代表取締役 雨宮 寛氏



## Natural Capital Leaders

「Natural Capital Leaders。」直訳すれば天然資本のリーダー達となりますが、米系のオンライン情報サイトGreenBiz.com（グリーンビズ・ドット・コム）が全世界4600社（19業種）の上場企業を対象に売上を上げるために天然資源がどのように使用されたのかをランキングした結果が発表されたので、今回はこの結果をお伝えしたいと思います。天然資本は、有限である天然資源の使用と廃棄物や排出ガスなど地球環境に負荷となるものを指します。

このランキングには2種類あります。Efficiency Leaders（効率的なリーダー企業）とDecoupling Leaders（因果関係の無いリーダー企業）です。効率的なリーダー企業とは、各業種から過去1年間の売上を上げるために天然資本を最も効率的に使用した企業です。因果関係の無いリーダー企業とは、各業種で過去5年間の売上が増加する一方、天然資本の使用が減少している企業になります。

少ない天然資本で企業活動が効率的に運営されることは望ましいことです。しかし、企業は成長をしていかなければなりません。企業は多くの人を雇用し、企業活動拠点の地域経済に大きな影響を及ぼします。そのため、企業活動が効率的に行われていることと同じように、天然資本の使用が減少している中でも企業活動が成長していることが大切です。天然資本の使用が減りつつ、売上を増やすことができる企業が多くなればなるほど、地球（Planet）、人々（People）、企業収益（Profit）の3主体がそれぞれ

利益を受けることができます。このような持続可能な社会に変えていかなければなりません。

それでは日本企業の状況です。Efficiency Leadersに日本企業は一社入っています。銀行業種でりそな銀行の持ち株会社である「りそなホールディングス」です。一方、Decoupling Leadersには日本企業は二社入っています。ヘルスケア業種で塩野義製薬がベクトン・ディッキンソンアンドカンパニー（米）とルピン（インド）とともに一位となりました。また、不動産業種でNTT都市開発がコモン・ウェルズ・プロパティ・オフィス・ファンド（豪）とともに一位となりました。19業種のリーダー企業をみると世界的なグローバルな企業が選ばれていますが、インドネシアの車の部品会社や南アフリカの資源会社、トルコの飲料水メーカー、インドの公益サービス企業など新興国の企業も選ばれています。今後は、このようなランキングがより広く認知され、天然資本の使用の少ない企業活動が増えてくればウィン・ウィン・ウィンの世界が築けることになるでしょう。

ランキングや関連資料はこのサイトへアクセスしてください：

<http://www.greenbiz.com/research/report/2014/01/19/state-green-business-report-2014?ms=45828>



(画像1)

今年も1月下旬に洋上大学が横浜港へ寄港（画像1）しましたので、その際の活動をお伝えいたします。今回も神奈川SGGクラブ（KSGG：<http://www.ksgg.org/index.html>）のボランティア通訳の方にご協力頂きました。洋上大学の学生や教職員の方々30人ほどが鎌倉の長寿寺を訪問し、座禅体験をさせて頂きました。この訪問では、長寿寺に向かう前に、KSGGの方々が、事前レクチャーとして大棧橋の待合ロビーで鎌倉の歴史や座禅について解説されました。参加者は真剣に話を聞き、質問も多く出ました。（画像2）



(画像2)

半日家庭訪問（ホームビジット）もKSGG会員の複数のご家庭において引き受け下さいました。（画像3）

また、日本の伝統文化を体験するという事で、日本式のお茶を体験した学生（画像4）や着物を体験する学生（画像5）もあり、外国の若い人たちが日本の伝統を垣間見る機会ができたのではないかと思います。

来年も横浜港に寄港します。企業訪問や仕事体験など、外国（米国大学の学生が主ですが、出身国は様々です）の学生達に体験させてあげようと思われる方はぜひご連絡頂ければ嬉しいです。よろしくお願います。



(画像3)



(画像4)



(画像5)

画像1、2は筆者提供。画像3、4、5はKSGG会員の皆様から提供して頂きました。

### 略歴

コーポレートシチズンシップ代表取締役。DWMアセット・マネジメント；DWMインカムファンズおよびスワンクキャピタル日本代表。明治大学公共政策大学院兼任講師。CFA協会認定証券アナリスト。NPO法人ハンスオン東京理事。コロンビア大学ビジネススクール経営学修士およびハーバード大学ケネディ行政大学院行政学修士。クレディ・スイスおよびモルガン・スタンレーにおいて資産運用商品の商品開発を担当。2006年コーポレートシチズンシップを創業。「あなたのTシャツはどこから来たのか？」（ビエトラ・リポリ著 東洋経済新報社）「暴走する資本主義」（ロバート・ライシュ著 東洋経済新報社）「ジェンガ 世界で2番目に売れているゲームの果てなき挑戦」（レスリー・スコット著 東洋経済新報社）などを翻訳。「アショカDVD・社会起業家シリーズ」監修。